

ななお認知症 知ってあんしん本



1. 認知症かも？

- 1-1 認知症とは？（症状・種類）…………… 2～3ページ
- 1-2 認知症の気づきのチェックリスト…………… 4～5ページ
- 1-3 認知症かも？と思ったら早めに相談…………… 6 ページ
- 1-4 早期の気づきと対応が大切です（受診・相談窓口）…7～10ページ

2. 認知症になっても安心して暮らし続けられるように

- 2-1 認知症の経過に応じて利用できる支援…………… 12～13ページ
- 2-2 ご本人とご家族を支援する各種サービス…………… 14～18ページ
- 2-3 まわりの私たちにできること…………… 19～21ページ

「ななお認知症知ってあんしん本」とは

認知症の人やその家族が「いつ」「どこで」「どのような」支援を受けることができるのか、認知症の経過と状態に応じて利用できるサービスの流れをまとめたものです。

この冊子を手にとっていた方へ

認知症は脳の病気によるもので、高齢化とともに認知症を患う人は増加しています。

認知症のうち最も多い、アルツハイマー型認知症を発症する最大の危険因子は加齢であり、誰もが患う可能性がある自分事として認知症に備えることが大切です。

ご本人やご家族、周りの人が、できる限り認知症について正しく理解し、必要としたときに支援につながる事ができれば、認知症を患っても、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるのではないのでしょうか。

「認知症かもしれない」「これからの生活が心配」など戸惑ったときに、この「ななお認知症知ってあんしん本」を活用いただけたら幸いです。

ななお認知症知ってあんしん本の活用目的

●認知症に早く気づくために

ご本人やご家族、周りの人たちが、早期に認知症の症状に気づくために使います。早く気づくことにより、適切な対応や治療などで症状の進行を遅らせ、自分らしい生活を維持する期間を延ばすことができます。

●住み慣れた地域で安心して暮らすために

認知症の症状や経過、利用できるサービスを知ることができます。状態に応じたサービスを活用することによって、その人らしく、住み慣れた地域で安心して暮らせるように支援します。

